



東京福井県人会
創立 1898(明治31)年

東京福井県人会報

東京福井県人会
平成19年11月15日(木) 発行
発行責任者 理事長 佐々木功



会長 大和田 潔

頭の下がる
ボランティアの姿

皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。

年の経つのはまことに速いもので、冬の日本海を襲った、あのロシアタンカー油流出事故から今年でもう十年になります。

あの時大勢の人たちがボランティアとして駆けつけ、油と格闘して浜辺をきれいにしてくれたあの姿を、テレビを通じて頭の下がる思いで見ているのはついこの間のような気がいたします。

よみがえった美しい自然やボランティアの熱い心を次の世代に伝えようと坂井市で今年六月十周年のつどいが開かれ、その模様が福井県広報課の「グラフふくい」で紹介されました。参

加した人たちはこれを機に日本一のボランティア県を目指すという思いを一つにしていた、と同グラフは述べており、大変印象に残りました。



三国中学校合唱部の生徒たちは、歌で美しい三国の自然を表現

カメラアイ
ボランティア
日本一の県に

重油災害を契機に生まれた成果を確認



吹き出しのおにぎりを配る親子ボランティア

冬の日本海を襲ったロシアタンカー油流出事故から今年で十年。よみがえった美しい自然やボランティアの熱い心を次の世代に伝えようと、六月三日、坂井市みくに文化未来館で十周年のつどいが開かれました。

自民党参院執行部

参院幹事長に山崎正昭氏



山崎正昭氏(やまさき・まさあき) 日大卒。官房副長官、参院議員連帯委員長。当選3回、65歳。町村派。

自民党は八月二十日、参院

新執行部を決定し、福井県選出で町村派の山崎正昭前官房副長官(六五)が選出された。山崎氏は、福井新聞社の取材に対し「参院選の厳しい結果を真摯に、また謙虚に受け止める国民の要請、負託にこたえていかねばならない。衆参一枚岩となって全力で難局を必ず乗り切っていきたい」と話した。

御挨拶

福井県知事 西川一誠



東京福井県人会の皆様には、郷土福井県発展のため、日ごろから温かいご支援とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

今年四月の知事選挙におきまして、多くの皆様の力強いご支持を賜り、引き続き県政を推進する重責を担わせていただくことになりました。決意を新たに、二期目の県政に臨んでまいります。

今日のわが国では、経済雇用面の面における地域間格差の拡大、少子高齢化の進展など深刻な課題も浮き彫りになっております。こうした中で、本県は、

全国一低い失業率、全国で唯一出生率が二年連続で上昇した県、さらには犯罪の減少率も全国一

というような成果を上げることができました。これからは、この流れを確かなものにし、福祉、教育・文化そして環境についてさらに充実して県民の「暮らしの質」を高めていかなければなりません。健康長寿とこれを支える豊かな食と水、子どもを生み育てやすい自然と生活環境、歴史や文化など、誇ることのできる福井の豊かさに磨きをかけ、日本をリードしていきたいと思います。

県政について何点か申し上げます。まず、県政の最重要課題である北陸新幹線の整備でございます。北陸新幹線の福井駅部に つきましては、平成二十年年度の完成に向けて高架化部分の工事が

着実に進んでいますが、駅部の完成から間を置かず県内へ延伸されるためには、建設基本計画の早期見直しが必要であり、今年はその正念場の年であり、計画の見直しに向けて県人会の皆様方の力強いご支援が不可欠ですので、なお一層のご支援をお願いいたします。

地域間の税源偏在の是正の一つの策として国でも研究を進めている「ふるさと納税」につきまして、私も委員の一人として研究会に参加しております。私は、昨年十月に、納税者が故郷の自治体などへ寄付を行った場合に、これに見合った税額を所得税と個人住民税から控除する一ふるさと寄付金控除の創設を提言いたしました。

「ふるさと納税」とは、納税者の気持ちに応えるものであり、例えば、立派な政策を実行したり、住民の暮らしをよくしたりする住所地以外の自治体に対する思いを形にすることができるといふ発想もあります。県人会の皆様にも、ぜひご理解いただきたいと考えております。今年度のトピックスについて何点かお伝えします。

東京地区各会二覧

東京福井県人会

会長 大和田 潔
事務局：〇三二五二二一九〇七四
(〒一〇二一〇〇九三)

千代田区平河町二一六―三
都道府県会館十階
福井県東京事務所内)

三国会 会長 北川 雅男
事務局：〇三二二七九二二四四七

勝山会 会長 加藤 直子
事務局：〇四二四一七一四二二六

大野会 会長 岩原 良夫
事務局：〇四八七五四一九二七八

美山会 会長 宝鏡 睦郎
事務局：〇三二二六九一三三八五

上志比村人会 会長 鈴木 高志
事務局：〇四五八九一四一七〇

鯖江会 会長 前川甚八郎
事務局：〇三二二四五一三六四六

今立会 会長 山岸 真純
事務局：三秀社総務部
〇三二二八八二二七五

勸武生郷友会 理事長 小田 貞夫
事務局：〇三二二九五一一三三三六

南条郷友会 会長 川崎 利雄
事務局：〇四七一四四一七八七四

池田郷友会 会長 相木 正則
事務局：〇四八二六五二五五七四

敦賀人会 会長 大和田 潔
事務局：〇三二三四五七一七一〇

若狭雲城会 会長 松山 三郎
事務局：〇三二二二七二七八〇〇

美浜会 会長 川瀬 仁司
事務局：〇三二二二七五一一二八八

名田庄会 会長 榎 正好
事務局：〇四六一三三八一三七四二

北陸新幹線延伸

敦賀まで認可に全力

福井県 政財界 大会、総会で訴え

北陸新幹線の基本計画見直し議論が与党内で始まるのを前に五月二十九日、建設促進大会や福井県政財界の意見交換会、自民党北陸新幹線建設促進議員連盟の緊急総会が東京都内で連続開かれた。福井県は、敦賀までの工事実施計画一括認可・着工に全力を挙げ、敦賀以西のルート問題は認可後の検討課題とすることを確認した。

都内のホテルで早朝開かれた福井県の意見支援会には、西川知事、江守幹男県経済団体連合会会長のほか沿線市長、県議、市議らが出席。県選出の国会議員と懇談した。

出席者は、ルート問題を棚上げし、敦賀までの認可獲得に全力を挙げることで一致。会合後、西川知事は「まずは一括認可に取り組みことで意思統一できた。敦賀以西は着工後に検討していく」と話した。

ルート問題をめぐってはこれまで、西川知事が敦賀までの認可・着工を最優先としていたのに対し、国会議員らは敦賀以西の方向性をまず示すべきと主張。認識に温度差がみられていた。

この後開かれた建設促進大会には、沿線十都府県から約三百人が参加。県内の経済界や行政、



北陸新幹線建設促進大会で敦賀までの一括認可・着工などを訴える西川知事。赤坂プリンスホテル



永平寺西IC～永平寺東IC間が開通し、通りが行われた中部縦貫道「永平寺大野道路」

中部縦貫自動車道「永平寺大野道路」の永平寺西IC～永平寺東IC間一・六が完成し三月十七日開通式が行われた。

永平寺西～東1.6キロ完成

中部縦貫自動車道「永平寺大野道路」の永平寺西IC～永平寺東IC間一・六が完成し三月十七日開通式が行われた。開通式には西川知事や県選出

国会議員をはじめ永平寺町、福井、大野、勝山市の沿線首長ら関係者ら約二百人が出席した。永平寺大野道路は、福井市から永平寺町、勝山市を經由し、



「ゆりかもめ」の健康長寿PR

福井県は三月一日、東京の交通システム「ゆりかもめ」の車内や車体を健康長寿の広告やポスターで「占拠」し、福井県ブランドをアピールする事業を行い、約一カ月間、福井県一色の車両が臨海副都心を走った。

「なぜか長寿、福井県。」と書かれたイメージポスターやス

「ゆりかもめ」の車内に掲示された健康長寿をPRする広告

「ゆりかもめ」の健康長寿PR

「ゆりかもめ」の健康長寿PR

「ゆりかもめ」の健康長寿PR

大野市に至る延長二・四キロ。国交省近畿地方整備局の布川

明彦局長は「永平寺大野道路は約九割の用地を取得しており、着々と工事が進んでいる。今後の整備に努力したい」とあいさつ。

国交省福井河川国道事務所は、二〇一六年度を目標に福井～大野間の開通を目指している。



七月十六日午前十時十三分ごろ、新潟中越沖を震源とする強い地震があり、震源の深さはマグニチュード(M)6.8。能登半島地震や二〇〇四年十月の中越地震と同タイプと気象庁は発表

福井県は、福井市や坂井市など嶺北北部で震度2、越前市や敦賀市、小浜市など一帯で震度1を観測した。政府の地震調査委員会委員長・阿部勝

M6.8 新潟、長野で震度6強

「ひずみ集中帯(神戸) 福井～石川～新潟」が関係

中越沖地震

正東大名教授は臨時会議を開き、今回の地震発生に「ひずみ集中帯(北海道の日本海沿岸から琵琶湖付近を抜け、神戸方面まで伸びる幅五十一～二百キロの帯状の地域)」という地層の一部が関係している評価をまとめた。

この地域の地層の形成時期が比較的新しく地質が軟らかく、この海域にかけて多くの断層が存在し、調査委は今回の地震は同集中帯内の海底にある断層の一つが震源だとみている。

「神戸～新潟ひずみ集中帯」には、プレート(地殻を構成する岩板)が押し合いへし合いして、そのひずみが神戸から福井や石川を経て新潟にいたる帯状の地域に集中してたまっている。

人の一生を通じ バランスのとれた税制を!

ふるさと納税研究会が初会合

「ふるさと」に対する納税者の貢献等が可能な税制上の初会合が六月一日、総務省で開かれました。

全国の知事で唯一メンバーに選ばれた西川一誠知事は「大都市へ人材を輩出する地方に適切な財源を配分しなければ、日本全体が活力を失う。地方分権と税源移譲をさらに進めることを前提に、人の一生を通じた行政サービスと税負担のバランスを考えるべき」と、新税制の必要性を強調しました。

(グラフ)ふくい七月号

国にも要望

福井県 安全再確認を要請 原発の安全確保へ

国が、原発の耐震安全性や消防態勢の点検を電力各社に指示したことを受け、県内に原発を持つ関西電力、日本原電、日本原子力研究開発機構の三事業者に対し、安全管理体制の再確認を申し入れた。

西川知事は甘利経済産業相と面会。原発火災原因究明等の要望書を渡し「地震の時に実効的な消火活動ができるような体制整備の指導」を訴えた。

福井紙業株式会社

代表取締役社長 椿原慶二

本社営業所 〒101-0051 東京都千代田区神保町2-46
電話 (03) 3265-5970 (直通)
FAX (03) 3265-5966 番 (旧今立町)

前田建設工業株式会社

代表取締役社長 前田靖治

〒102-8151 東京都千代田区富士見2-10-26
電話 03(3265)5551
FAX 03(5276)5161

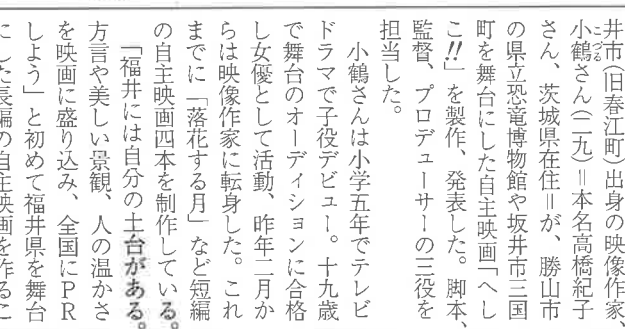
橋本電気株式会社

取締役会長 橋本義雄 (福井市出身)
取締役相談役 荻田昌宏 (福井市出身)

本社 〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-20-4
電話 03(3915)3121
支店 〒910-0851 福井県福井市米松2-1-25
電話 0776(54)7770

●●福井県を舞台に自主映画●●

ふくいブランド大使の小鶴さん(旧春江町出身) 「温かさ 全国へPR」



「ふくいブランド大使」で坂井市(旧春江町)出身の映像作家小鶴さん(二九)は本名高橋紀子さん、茨城県在住。が、勝山市の県立恐竜博物館や坂井市三国町を舞台にした自主映画「へしこ!!」を製作、発表した。脚本、監督、プロデューサーの三役を担当した。

小鶴さんは小学五年でテレビドラマで子役デビュー。十九歳で舞台のオーディションに合格し女優として活動、昨年一月からは映像作家に転身した。これまでに「落花する月」など短編の自主映画四本を制作している。

「福井には自分の土台がある。方言や美しい景観、人の温かさを映画に盛り込み、全国にPRしよう」と初めて福井県を舞台にした長編の自主映画を作るこ

とになった。

映画は、東京で生活していた女性が時折、幻想を見る病気に陥り、故郷の福井に戻って家族や人との触れ合いを通じて成長していく様子をコメディタッチで描いている。

福井県内撮影は一月下旬に行われ、三月下旬以降、県内数カ所や東京(青山29)でも上映された。映画製作には、ふくいブランド大使自主的活動支援補助金も活用している。

小鶴さんは「人とのつながりが希薄な時代だからこそ、家族愛や人とのつながりを訴えたい。全国コンクールで賞を取り、福井に恩返しできればと意気込んでいる。

詳しくはホームページ
<http://ko-du-ru.com/>

ふくいブランド大使一行 冬の越前海岸満喫

(2007.02.10.11)

冬の越前海岸の魅力を再認識し福井県のPRにつなげようと、都内の県人会員でふくいブランド大使がツアーを企画、二月十日・十一日越前町を訪問した。一行は押し花を楽しんだり、写真、水仙畑を見学するなど旅情を満喫した。

越前町出身で、府中市在住のブランド大使、山門美智子さん(六二)らが企画したもので、関東地区に住む十五人と大阪市内の三人、福井在住の三人と宮島康行福井県ブランド推進室長らが参加した。大使に誘われ、福井県を旅行中だった女性グループ五人も飛び入りで加わった。

一行は、宿泊した水仙荘で、JA越前丹生次長浜野浩一さんから、水仙の生産状況、栽培方

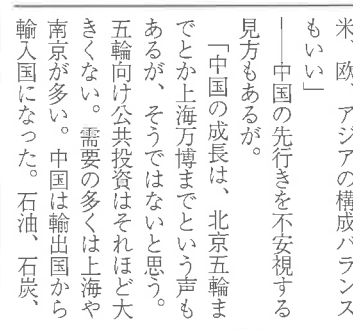


法などを聞いた後、水仙の押し花額づくりにも挑戦。「同町水仙アートクラブ」のメンバーの手ほどきを受けて、思い思いの作品を仕上げた。また水仙が咲き誇る畑で写真を撮るなど、福井県が誇る観光資源を体感した。

一行は、水仙荘近くの、水仙の館、自然文学資料館(越前町)を見学、翌日は、水仙ミュージアム(旧越前村)で水仙の歴史を学び、室内の水仙を鑑賞し、午後は、海岸の崖地に自生する水仙と、かにミュージアム(越前町)、北前船の館(南越前町)を見学し、昼食には越前そばの味を楽しんだ。

参加したブランド大使は、平成十七年からこれまで、矢来公園(新宿区)、白金公園、筈公園(港区)、越前堀公園(中央区)、常盤橋公園千代田区、岡倉天心公園(台東区)、墨田区役所勝海舟像前(墨田区)等福井県と歴史上つながりのある場所に、越前水仙を植える活動を続けている。

野路國夫・コマツ社長(福井出身)に聞く アジアの時代 が到来



建設機械の国内最大手、コマツの社長兼CEO(最高経営責任者)に、福井市出身の野路國夫氏が六月二十二日就任した。三期連続最高益を達成し、今期は売上高で初の二兆円超えが予想される中で、パトロンタッチだけに「現場力」による持続的な成長を第一に掲げる。

「売上高予想の達成は大丈夫だと思ふ。現在、建機では国内売り上げが二割弱。残りが海外米、欧、アジアの構成バランスもよい」

「中国の先行きを不安視する見方もあるが、

「中国の成長は、北京五輪までとか上海万博までという声もあるが、そうではないと思う。五輪向け公共投資はそれほど大きくない。需要の多くは上海や南京が多い。中国は輸出から輸入国になった。石油、石炭、

鉄などの資源価格が上がった。資源を持つ新興国に金が入りインフラづくりが始まった。この先四十、五十年は日本、米、欧の時代ではなく、ようやくアジアの時代が来た」

「環日本海ネットワークとして北陸が重要なものでは、

「粟津工場(小松市)の製品は昨年まで名古屋、神戸港を利用していたが、アジアの時代が来るんだから金沢港を利用する。金沢工場を建設し、地元でシフトしている。今年、石川県内の製品の五割は金沢港から出るし、中国向けの部品は伏木港(富山県)から出している。中国、ロシア、東南アジアを含めた日本海側の役割は大きくなる」

「敦賀港もアジアとの貿易拡大が課題になっている。

「北陸三県でいくつも港があり、内航船で運ぶなどのネットワーク化が必要であろう。福井

北陸3県 港連携を 「現場力」で成長持続

県内でも部品を生産している。北陸三県で連携していくのが現実的である。北陸の機械工業群は国内でも有数。いろんな業種の機械工業が集まっている。特徴を生かすことが大事」

「現場重視を打ち出している。現場で小さな改善を積み重ねることが大きな売り上げにつながっていく。現場一つ一つに力がないと持続的な成長はできない。私はそれを『現場力』といっているが、結局は人。価値観がぶれず、軸足をしっかりと持っている人がいれば企業は大きな流れに集っていく。中国、福井とのかかわりは、

「生家は福井市春山二丁目目にあつた。今はないが、毎年八月には足羽山に両親の墓参りに行っている。ひんぱんに石川県など、北陸に足を運んでいるので、機会があれば福井とのつながりを深めていきたい」

福井デザイン倶楽部



「関東から誘客を」 観光で意見支援

(2007.03.26)

首都圏在住の福井県出身者の有志が福井の活性化について勉強している「福井デザイン倶楽部」の会合が三月二十六日、ふくい南青山291で開かれた。福井県観光連盟の酒井仁志観光プロデューサーを講師に迎え、東京からの誘客を話し合った。

参加者からは「福井県にこだわり過ぎず、金沢などと連携を」「原発を観光に結びつけられないか」「芦原温泉湯めぐり手形を使いやすくしてほしい」など意見が相次いだ。また、若狭を舞台にしたNHK連続ドラマや、福井まで使える「JR東日本の大人の休日倶楽部パス」を誘客に利用するなどのアイデアも出された。

福井県出身者や福井県東京事務所職員ら十七人が参加。酒井プロデューサーは、「少子高齢化が進む中で交流人口を増やし活性化していくには観光振興が必要」と説明。「関西や中部に比べて関東からの観光客が少ない。どう伸ばすかが課題」と話した。

東洋の思想 岡倉天心



西洋の先進文明が怒濤のように我が国に押しよせてきた明治近代黎明期に、当時の知性の代表者のひとり岡倉天心は敢然として東洋の素晴らしさを主張し有名な「アジアは一つ」の文章から起こし、インドに発する仏教、中国における儒教等に言及しながら、それらの宗教がいかに日本の芸術と融合し発展したかを論じている。「我々の歴史の中に我々の新生の泉がある」とする本書は日本文化の本質を再認識させる名著である。

岡倉天心(一八六二—一九一三)は、福井に住んだことは一度もなかったが、生涯「生まれは越前」と言い続けた。

荒木新五法律事務所
弁護士 山之内 三紀子
〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号
大同生命霞が関ビル706号
電話 03(5511)1477(代表)
電話 03(5511)1537(山之内グループ専用)
FAX 03(5511)1478

泰信電気株式会社
取締役社長 坂下 昇
〒105-0014 東京都港区芝3-43-13
電話 03(3452)8311(代)
FAX 03(3452)8317

佐々木内外国特許商標事務所
所長 弁理士 佐々木 功 (大野市出身)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-29
虎ノ門産業ビル6階(虎ノ門交差点文部省前)
電話 03(3591)0271(代)
FAX 03(3508)0170

福井県人



福井空襲 その一日

ひらいわゆみ 平岩弓枝(作家)

昭和二十年三月末に、私は母の故郷の福井へ疎開した。滞在したのは母の姉の家で福井からおよそ五里、九頭龍川のほとりで、伯母は夫に死別し、一人息子を満州へ送って一人暮らしであった。伯母の家は精米所をやっているが片手間に理髪業をやっていた。伯母は二つの仕事の他に、少々の田畑も自分で耕作していた。

空襲の前夜、私は伯母の声を目ざめた。近所の人が、市内が空襲されていると知らせに来ていて、伯母が屋根の上だったので私もついて行った。向う三軒両隣り、といっても距離はあるのだが、みな、屋根の上にはいた。

市の大半が焼けてしまったとは、夢にも思っていない。電車の中はいつもより人が多かった。福井市に会社や知り合いのある人々が様子を見るために出かけて来たものだったのか。

電車は市内へ入る手前で停ってしまった。線路はその先から焼けていた。電車から下りて人々について歩いて行った筈なのに、気がつくとも周囲に誰もいなかった。町はまだ燃えていて、ところどころ火の手が上っていた。白煙がたちこめていた。それでも、とんでもない所へ来てしまったとは考えなかった。

困ったのはすべてが焼けた町には目星がなくて、福井城の石垣であった。ひたすら、そっ

ちへ歩いていくと、トラクタが停頓して、カーキ色の服にベルトを巻いた人々が驚愕を呈して灰色の物体を地上から車の上へ投げつけていた。近くへ行っても灰色の物体が焼死体とわかっていても、不思議に怖くはなかつた。城の堀は人で埋まっていた。猛火に追われてとびこんだ人々が水に浮んでいたものだとわかっては私は学校のほうへ走った。四月月足らず、母校であったその建物の中で残っていたのは石の門だけであった。暫く立っていたが、誰も来ない。

歩き出したのは、友人の家を訪ねるためで焼け落ちた家々には防空壕が崩れていた。(後略)

文芸春秋
05・2月より転載

私共の「東京みくに会」は昭和二十六年(一九五二)、平澤貞二郎さんを中心に有志が集まり発足しました。以来今年で五十七年経過しました。

当初は春秋二回、総会を開催しておりましたが、その後三國高の関東地区同窓会である「東京九竜会」も発足したので、昭和五十六年(一九八一)より五月下旬は東京九竜会総会を、そして十一月中旬に東京みくに会総会を開催しております。

私は昭和三十三年に入会し、翌三十九年より「お前の声は大いさ、明るいから司会を頼む」と云われ、司会と幹事を担当してききました。



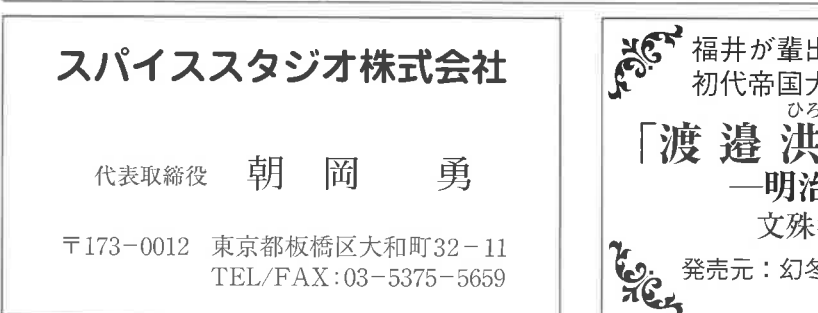
東京みくに会

会長 北川雅男(旧三國町)

当時の主要メンバーは殆どが明治生まれの個性豊かな方々ばかりで、対応が大変でしたがそれ以上に「ふるさと」を想う気持ちが充分に伝わって来ました。

昭和三十九年(一九八四)、三國町運動公園に桜を一五〇本寄贈しました。数年後、関西みくに会も桜を一〇〇本寄贈しました。現在二五〇本の立派な桜のトンネルが桜の名所として地元の人達に喜ばれております。

平成九年(一九九七)一月二日、ナホトカ号が座礁し、一月七日朝九時船首が安島に漂着した重油事件は全国からボランティアが約二万人参加され回復不可能といわれた海が元に戻ったことはいまだに感謝の心で一杯です。



半世紀ぶり級友再会

校舎見学、思い出話に花

武生高 上池田分校 18人 初のクラス会

このクラスは一九五一年(昭和二十六年)同校へ入学して、十五年に学舎を築立った第四回卒業生。男子十四人、女子十六人の計三十人で、クラスメートには杉本博文校長の母すみ子さんと和野孝治助役らがいる。同級生は全国に散らばり、集まる機会は一度もなかった。

その中の一人、梅田秀男さん(七二)＝草加市・東京福井県人会員(池田町出身)＝が昨年八月、墓参りに訪れた際、同級生と再会し発案。「いつ亡くなるか分からない。元気なうちにクラス会を開こう」と決め仲間連絡。地元福井市、越前市のほか埼玉県川口市など遠方の消息もたどり、二十七人の所在を確認した。

約半世紀ぶりに顔を合わせた同級生は、木造から鉄筋に変わった校舎を見学したり、かんじきを履いて通った豪雪の昔話に花を咲かせた。酒を酌み交わし

て当時を懐かしみ、夜更けまで談笑が尽きなかった。神戸から参加した無量小路宗彦さんは「五十二年も過ぎると(級友を)覚えていないが、名簿を眺めながら思い出している」と感慨深げ。梅田さんは「数年後も健在だったら、またやりたい」と、感動の再会に顔をほころばせた。

参加者は亡くなった三人の級友へ黙とうをささげた後、数字を担当した齊藤摩耶子先生(池田町在住)を招き記念撮影を行った。ステージで吟舞を披露するなど、和やかにクラス会を楽しんだ。



52年ぶりに集まり旧交を温めた。池田町の冠荘

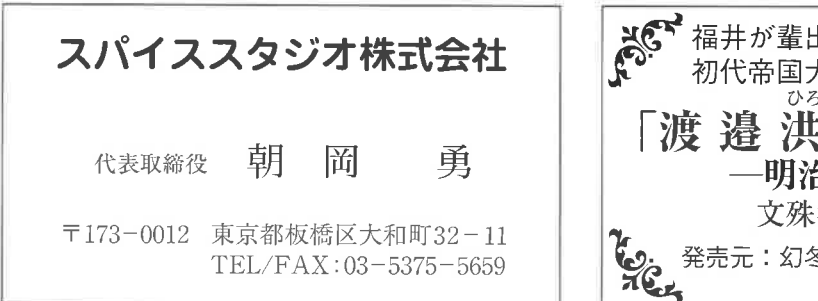


敦賀の味

福井ブランド大使 久米川弥生(敦賀市)

「松島の久米川です。」と、今年初めて参加させていたのだ敦賀人会で、久しぶりにそんな自己紹介をしました。東京では、敦賀の方に会うチャンスがとまらなかつたので、「これで通じるって素敵だ!」とんだかほっとしました。ですから敦賀の方にしか聞けないであろう事を書きます。

私は「福井を口コミで全国に広めよう」という福井県の試み「福井ブランド大使」への参加がきっかけとなり、今回敦賀人会に参加させて頂くことができました。とはいえ、お盆や年末年始には実家に戻っています。しかし上京十年ともなると、敦賀でしか食べられない味が、時々私を悩ませます。例えば一夜干しのかれい。アツアツのご飯といっしょに食べるのも幸せになります。鯖の焼いたのも食べたくなります。我が家では生妻醬油で食べていました。あぶらの



金ヶ崎城址 金ヶ崎神社

のつた所は絶品です。ヨーロッパ軒のカツ丼とパリ井も食べたくなります。でもダントツに私を呼ぶのは水仙まんじゅうです。店先でおちよこから「ちゅるっ」と食べると、ひんやりとしてほんのり甘く、いくつでも食べられます。皆さんはこんな思いから来たりませんか? (会報敦賀70号より転載)

「松島が輩出した東京府知事 初代帝国大学総長の生涯を描く」

「渡邊洪基伝 ー明治国家のプランナーー」

文殊谷康之 著(本名:新井 進)

発売元: 幻冬舎ルネサンス 定価: 1,680円(税込)

スパイススタジオ株式会社

代表取締役 朝岡 勇

〒173-0012 東京都板橋区大和町32-11 TEL/FAX: 03-5375-5659

曹洞宗 臥牛院(旧織田町)住職 日庭寺(旧武生市)

藤木 隆 宣

〒155-0031 東京都世田谷区北沢4-17-2 電話 03(3481)4911 FAX 03(3481)4913

活躍する



大野会ってなんだろう？



東京大野会会長 岩原良夫

大野会って何だ、そんなにも必要？ 答えは難しい。多分に情緒的な理由しか見つからないであろう。

いつかその答えが欲しいと考えていたが、会報担当者から、東京大野会について、何か書け、との指示があったこの機会に自分なりの考えを纏めてみた。

これまでの総会などで、参加された方々が、開式前から肩を叩き合ったり、抱き合ったりしている姿であふれるのを拝見するとき、「開催出来て、良かったー」という想いが満ちてくるのであるが、そんな中に答があるような気がする。

故郷大野を離れ、首都圏に異動してきて、学業に就く若者、また寝食を忘れ業にいそしむ人、リタイア後の生活を楽しむに至ったそれぞれの生活。交通機関が格段に進歩し、帰省が容易になったとはいえ、時間に追われ、又何よりも交通費が高く、そう簡単には帰れるものではない。そんな中である種の心理状態に置かれたとき、故郷との距離感をずいんと感ずる時がある。「母さんの味噌汁と、漬けものは食べたいたい」と絶叫するのはそんなときであろう。

若いときは、環境に慣れず、これに失態でも重なれば、望郷の念一気が高まり、人家の窓からもれてくる家族団らんのみかりが限りなく切なかった。

仕事に追われ、望郷の念、そんな暇あるかい、という時期に至っても、酒席での話題が深流釣りに及んだりすると、大野のあの川ではもつと釣れたぞ、といつい故郷自慢に及び、帰途はどつぶり望郷の千鳥足。長らくの勤めを終え、子供たちも巣立ち、ようやく夫婦に平穏が訪れた頃になると、たとえ故郷大野に辛い思い出しかなかったとしても、すっかりそれも洗い流され、透明な懐かしさのみが胸をよぎる。

そんなときに、近くに、大野弁が飛び交い、故郷の匂いがプンプンの集まりがあったとしたら、との想いに達したとき、答えが見つかったような気がした。

ふるさとこの架け橋120年



財団法人武生郷友会 理事長 小田貞夫(旧武生市)

当会は、福井県出身で東京およびその周辺において勉学する大学生に奨学金を貸与すると共に、学舎(学生寮)を提供する育英事業目的の財団法人です。その端は明治二十年(一八八七)に発しており、本年創立120周年を迎えました。

当時東京において勉学していた、武生町(現・越前市)近郷出身の学生が郷里出身者の交流を深めようと、郷里の先輩である渡邊洪基(東京帝国大学初代総長)の支援を求めて設立され、武生郷友会と名付けられました。

数年後に、越前市(現・千代田区)に設置した会所に学生を寄宿させたことから、現在の育英事業が始まりました。会所は、大正三年(一九一四)に旧府中領主本多邸跡(現・港区)に移転した後に、大正十三年(一九二



四)に当時目白文化村と称して開発された現在地(新宿区中落合)に移転し、本格的な学舎を建設するに至りました。その後、大正十四年(一九二五)に財団法人設立の認可を受けました。

会の運営は、財団法人設立の趣旨に賛同いただいた有志、在京、地元、そして全国に散らばる学舎OBで組織されています。七百名を超える賛助会員の支援により成り立っております。

学舎の建設は有志の支援の下に、建替え、増、改築を重ねましたが、老朽化も進むと共に、用地の一部を公共用地として提供せざるを得ない事情が発生したため、平成九年(一九九七)に賛助会員、福井県他の関係団体のご支援を得て、現在の建物を新築しました。

学舎入舎生の出身地、出身高

越前水仙 群生地 見学記



清水 豊(福井市)

校は福井県内に幅広く、在学大生も多岐に亘っています。

現在三〇名の学生が在舎し、自主・自律をモットーとして学生委員会が日常の生活管理を行い、伝統のローンクパーティーや寮祭などの行事を主催するほか、町内会の行事に参加するなど、武生郷友会学舎ならではの学生生活を送っております。

前号の会報にも紹介がありましたが、東京及び大阪地区在住の県人会有志二十名余が二月十日正午、JR武生駅で水仙荘のバスを出迎えを受けました。

水仙荘到着後、水仙栽培の講義と地元婦人会による水仙の押し花づくり研修があり各人熱心に研修を受けました。

水仙荘は福井県の研修宿泊施設で越前岬灯台の真上にあります。研修終了後、小雨模様の中をバスで群生地見学に出発し、狭い山道を上り、下りしながら左右の山の斜面の大群生を時々下車しながら見学しました。

例年この季節は雪の中に群生していますが、今年には積雪が皆無で寒さを感じず見学には好適でした。さすがに群生地は一見の価値があり、眺めも雄大で周囲に良い香りが漂い、純白の花弁に中央が黄色の水仙の大群生に歓声の連続でした。

一番の見所は呼鳥門の真上付近ですが道路が整備されてなく遊歩道の幅も狭く歩きにくく感じました。観光ポスターでも紹介されている、眺望スポットは展望台もあり写真より迫力があり素晴らしい眺めでした。

夕食懇親会には福井県プラン



越前水仙の旅 水仙植栽・町会の人と記念撮影

関東支部創立早急に

福井商高同窓会が確認

福井商業高同窓会の関東支部創立の会がこのほど、東京都内で開かれた。関西や中京、石川での県外支部創立も視野に、関東支部を早急に立ち上げていくことを確認した。

同校同窓会の県外支部は現在休止状態にあり、来年の学校創立百周年へ向け同窓会活動を盛り上げる機運が高まっている。

関東支部創立の会には、発起人ら二十五人が参加。同窓会「福商会」の松浦正則会長、支部設立担当の平本正廣副会長も駆けつけた。松浦会長は「次の世代の人づくりは先輩の役目。同窓会活動を関東から中京、関西へと広げたい」と関東支部創設に期待を寄せた。

支部の名称は「関東福商会」とし、同窓会が把握している関東圏の卒業生約千三百人に参加を呼びかけていく。名誉会長に選ばれた吉野浩行氏は「関東福商会の活動を通じて福井の名を関東で広げていきたい」と抱負を述べた。西尾憲治会長も「多くの人に声をかけ活動を広げた」と、コース全体も初めての見学で良い思い出になりました。

最後に、見学旅行を企画したブランド大使の山門美智子、山崎俊博氏の尽力並びに宮島プランド室長、水仙荘の皆さん等関係各位のご支援の賜と感謝している次第です。

尚今年度は、房総保田地区の水仙ウォーキング(二月十四日(日))に参加し、房総の水仙を鑑賞しましたこと、十月六日(土)に、昨年に引き続き、中央区の越前堀公園(旧越前藩中屋敷跡)と常盤橋公園(千代田区)、高山清、内山雄次、山門美智子、天野ひろみ、山中靖彦、林健彦さんらと御一緒に越前水仙(五〇〇球)を植栽しましたことを併せて報告します。



発起人ら25人が集まって開かれた設立会

日高カントリークラブ

理事長 高橋正孝

本社及びコース 〒350-1213 埼玉県日高市高萩1203 (大野市)

安全で美しい自然(海、山、川)を守りましょう

トウネンキ株式会社

— 設備リニューアル・給排水・空調 —

ISO 9001:2000 認証取得 〒185-0053 東京都府中市天神町3-11 電話 042(363)0321 URL: http://www.tonki.co.jp 森本光輝・森本秀次(瀬河内出身)

aDsFactory

IT Consulting & Web Solution Provider

浅地デジタル彩図ファクトリー株式会社

常務取締役 浅地紀之

〒104-0061 東京都中央区銀座2-6-15 第一吉田ビル5階 電話 03(3535)0535 FAX 03(3535)0538 http://www.adsfactory.ne.jp/

越前赤瓦

140年ぶり五稜郭へ

函館市「奉行所」復元で使用

史料に基づき4万枚製作

北海道函館市の国の特別史跡「五稜郭跡」で、同市が復元整備する「箱館奉行所」に越前赤瓦が使われることになり、依頼を受けた福井県瓦工業協同組合は製作に入った。かつて北前船



復元される「函館奉行所」の完成予想図

北海道にまで行き渡った越前赤瓦が、約百四十年ぶりに再び

五稜郭と箱館奉行所は、幕末、アメリカ艦隊の来航で箱館を開

港することになった際、徳川幕府が北方防備や外交の拠点として

一八五七年から一八六四年にかけて整備した。後に起きた戊辰戦争の舞台としても有名。奉行所は移転のため明治初期に解体



函館奉行所に使われる越前赤瓦の試作品

された。

五稜郭と奉行所の歴史的意義を認識してもらおうと、同市が

昨年からの復元に着手。二〇一〇年の完成を目指している。忠実に復元するため、発掘資料などを

基に奉行所の建材一つ一つを独自に調査・分析したところ、瓦は含まれる鉄分が多いことなどから越前赤瓦であることが判明した。

復元に使われる赤瓦は約四万枚。福井市郷土歴史博物館の「舎人門」の赤瓦を手がけた福井県内業者らが製作に当たる。史料に残る枚数と屋根の面積から一枚の大きさを割り出すため

現在使われている規格の瓦は使えず、新たに金型から作り上げる。瓦ぶき作業は〇八年五月ごろから開始する予定で、今年三月から金型づくりに入り、同月から約十カ月かけて製作する。幅四、高さ一丁の「大鬼がわ

情報



議会と合意目指す 橋本あわらし市長

あわらし市の新市長に就任した橋本達也氏(五二)は、公約の二中学校存続のため、「新市建設計画の再変更に向け、議会との合意形成を図る作業にすぐ入りたい」と述べた。

従来通り進めるが、二つの中学校を残すことを前提にした財政運営に努めていく。既存の政策をどうするかはまだ先の話と語った。

直に訴えていく」と説明。市民とも積極的に対話を重ね、融和を図っていくと述べた。



テクノポート福井への進出が決まり、西川知事と握手を交わす須藤・吉野石膏社長

福井城 天守台跡

雄姿思い 誇りと哀愁



薬師 進さん 手寄2丁目、79歳

「国宝姫路城に匹敵する規模だった。福井城址は大手三丁目にある天守台跡について、歴史ボランティアグループ「語り部」の薬師進さんは熱っぽく語る。それだけに檣すら残らない現在の城址の姿に寂しさも感じている。

子どもから慣れ親しんだ場所。石垣の上で遊び回った。十代のころはデートコースにもしたが、歩くときは決まって三、四丁は離れたという。「手をつないでいるところを(旧制中学



高さ30丁にも及ぶ天守があったという福井城天守台跡

校の)先輩に見つかつたら大変。朝すぐに学校の玄関で竹刀でたたかれ、ビンタされるから」当時を思い出して笑う。

されることも多い。薬師さん自身よく足を運び「うらやましい」とため息をつくというが、加賀藩の押さえとして福井藩祖・結城秀康が築いた福井城への誇りは揺るがない。

吉野石膏(東京)県と契約

テクノポート進出 4、5年先工場建設

西川知事に港の整備拡充要望

坂井市のテクノポート福井に進出する建材用石膏ボードなど製造の吉野石膏(須藤水一郎社長)は福井県と造成工場敷地譲渡契約を三月十四日締結した。同社が取得した用地の面積は約六万六千九百平方メートル。四、五年先をめどに建築面積約二万平方メートル規模の工場を建設する計画で、地元雇用三千四十人を含め従業員百人体制で操業を行う。

須藤社長は西川知事ら県幹部との懇談の中で、四万ト超級の大型船が港に入れるよう、現状の水深十メートルから十二メートルへの整備を要望した。

テクノポート福井への進出企業は七十四社目で、売却率は92.9%。

株式会社福井銀行

本店営業部
〒910-0023 福井県福井市順化1-1-1
電話 0776 (24) 2030

東京支店
〒104-0044 東京都千代田区鍛冶町1-8-8
電話 03 (3253) 2861

株式会社福井新聞社

本社
〒910-8552 福井県福井市大和田町56
電話 0776 (57) 5111(代)

東京支社
〒104-0061 東京都中央区銀座5-9-1
銀座幸ビル8階
電話 03 (3571) 2918(代)
FAX 03 (3574) 8564

東本願寺(真宗大谷派) 真宗会館

京都の東本願寺を本山とする首都圏の中心施設です。仏事相談や葬儀・法事・仏前結婚式などお気軽におたずねください。

〒177-0032 東京都練馬区谷原1-3-7
電話 03 (5393) 0810
FAX 03 (5393) 0814
<http://www.prati.info/>

ふるさと



藩祖 酒井忠勝公

福井県立若狭歴史民俗資料館 友の会

中島辰男 (小浜市甲ヶ崎)

小浜藩祖酒井忠勝公は城址の御殿跡に、明治八年嶺南各地代表の発起で創建された小浜神社の主祭神として祀られている。忠勝は寛永元年(一六二四)から老中十四年、初代大老として十八年、二代秀忠、三代家光、四代家綱と三十二年間幕閣にあった。寛永十一年、川越(十石)から若狭(十一万三千石)に国替えとなった。藩王二十二年間のうち、小浜への就国は天守閣の竣工時などわずか四回、通算一年弱に過ぎない。幕府の重鎮であり、他の大名とは著しく事情が違っていたからである。戦前祖父に教えられた「親苦勞する、その子樂する、その子樂する、孫貧乏する」。古い川柳に「売家と唐様に書く、三代目」とも。これはどの時代にもある厳しい人間観といふべきか。忠勝は三代將軍家光に仕え、武家諸法度、参勤交代制、鎖国

令など政権の安定に寄与し、家光の遺命により、その死後を取り仕切る。わずか十一歳の家綱を補佐して慶安事件など政権交代の危機を乗り切り、見事に江戸時代三百年の平和の基礎づくりに貢献したのである。忠勝はつとに学問を好み、儒教、仏教の造詣深く、後に多くの学者が育つ小浜藩の風土を生む。また、三河家臣団の総帥として多くの大名からの信望も厚かった。人柄は謹厳、実直。家光が「自分の右腕」と重要した名臣であった。忠勝の没後五十八年に編纂された「玉露叢書」、さらに四十六年後の「仰景録」に多くの言行が残されている。三十四歳の時、秀忠から家光(十一歳)の守りに任じられ、家光を養育する場面がある。夜遊びをする家光を諷めるため、家光の草履を自らの懐中に温めてそ

れとなく注意するなど、身を挺して教育に心がけたという。後に、將軍家光が若狭から駿河(十八万石)への国替えを内示すると「駿河は権現様(家康の国)」と固辞し、しからは甲府(二十四万石)へと仰せつけられ「信玄の後はもつてのほか」と固辞した。家光は忠勝の若狭への強い思いを見て「若狭のつづきの江州の内志賀、高嶋の二郡はどうか」この三度の内命も「私ごときが厚遇に強がれば、他の諸国もとなり、国のためにいかがか」と辞退した。仰



酒井忠勝像(小浜市役所敷地)



農園で宿泊客「開拓」

周辺遊休地使いイモ、夏野菜 新献立や収穫体験に

福井市の国民宿舎「鷹巣荘」は指定管理者制度で民間企業が管理運営。周囲には、同施設が管理する市有地が約五万平方メートルあり、長年遊休地のままになっていた。遊休地を農園として活用し、新鮮食材の提供につなげようと、三月に約三千平方メートルを開墾。「鷹巣荘ふれあい農園」を開園した。四月にジャガイモを植え付け。栽培技術は、市園芸センターで農園づくりを学んだ市内愛好グループが協力し、職員とともに

土づくりから施肥管理までを行っている。農園ではジャガイモの青々とした葉が一面に広がっていた。ジャガイモは一ト以上収穫した。七月八日には宿泊客や地元園児、一般市民を対象にイモ掘り体験会を開いた。宿泊客や地元園児は無料。一般市民は参加費千円で、収穫したイモ十キロ分を持ち帰ってもらった。参加費は風呂代も含んでおり、作業後は同施設の見える露天風呂で汗を流してもらった。

ジャガイモのほか、農園では、夏休みに入ってから書き入れ時の食材用にキュウリ、ナス、シシトウ、ピーマンといった夏野菜も栽培した。野菜の成長記録は鷹巣荘のホームページで公開した。



農園の世話をする鷹巣荘の職員=福井市義町

景録は忠勝を「古今に独歩する御忠誠」と述べている。しかし、今に忠勝公の像を仰ぐことはない。

NHK連続テレビ小説「ちりとてちん」



西川知事から敦賀の景色について説明を受ける貫地屋さん

福井の自然 PRします

貫地屋さん抱負

で、上方落語の演題にもある。西川知事は貫地屋さんに花東を手渡し「元気な福井を、元気で育ててきなヒロインを演じてもらうことになり喜んでいて。県民も期待しています」と歓迎。貫地屋さんは「地元のみならず温かく迎えられるうれしい」と笑顔で応えた。

うどんに続き粉配合

ロングラン(坂井市)が商品化

昨年秋には、コシヒカリの米粉を配合したうどんを開発。現在、県内百貨店や食品スーパーなどで販売されているほか、県内の学校給食にも採用されている。今回は夏に需要のあるそうめんを商品化した。

コシヒカリは県産一等米を使用。手間と時間が掛かる手延べにこだわり、柔らかさとコシに配慮した。湧水、天日干しの塩など材料を厳選し、奈良県の製麺工場に製造を委託。中山秀夫社長は「コメ本来の甘みとのど越が抜群」と話している。

一袋百八十グラム(一人前)が三百八十八円(税込)で、丸岡城下の一筆啓上茶屋をはじめ、スーパーのハニーやかみみやで販売。今後、順次拡大してゆく。問合せ先、(株)ロングラン 電話 0776(67)1071

福井県を舞台に十月からスタートしたNHKの連続テレビ小説「ちりとてちん」のヒロイン、貫地屋しほりさん(二)が、敦賀市港町の旧敦賀港駅舎で西川知事と対面した。貫地屋さんは「自然が豊かで美しいところ。ドラマで一生涯命を捧げるPRします」と抱負を語った。

ドラマは、小浜市の若狭塗箸職人の家に生まれた主人公和田喜代美が、高校卒業後大阪で一流落語家を目指すストーリー。本県は伝統と職人の街として描かれ、笑いと商人の街として大阪も登場する。心配性で物事を悪い方へ考えがちなヒロインと、楽天的で大きっぱな母親を中心とした賑やかなストーリー。涙あり笑いありのストーリー。三味線の音色を擬音化した言葉

「はいや松風園」を開業当時の「灰屋」に改め、玄関ロビーなどの大がかりなリニューアル開業から二カ月。夏場は家族連れの利用などが好調で「従業員にお礼をしたいぐらい」の忙しさだ

「灰屋」は、もともと先祖が西陣織などに使う木灰を扱っていたことに由来する。「今は温泉に癒しを求める時代。単に館名を変えただけでなく、もともと灰屋の売りである、十五室の庭付き数寄屋造り離れの良さを、前面に打ち出していきたい」

「灰屋」女将 牧田 令子さん

創業百二十二年は、芦原温泉の歴史そのままの老舗。今

「灰屋」は、もともと先祖が西陣織などに使う木灰を扱っていたことに由来する。「今は温泉に癒しを求める時代。単に館名を変えただけでなく、もともと灰屋の売りである、十五室の庭付き数寄屋造り離れの良さを、前面に打ち出していきたい」

株式会社 兵左衛門

代表取締役 浦谷 兵 剛

〒101-0031 東京都千代田区東神田3-1-7
電話 03 (3865) 1184

My 著とギフト専門店 にほんぼう 広尾店
電話 03-5420-1184

若狭小浜・丸海直売店
三越日本橋店

小浜海産物(株) 東京営業所

〒104-0045 東京都中央区築地4-4-15-405
電話 03 (3541) 8388
FAX 03 (3543) 8377

河和田屋印刷株式会社

代表取締役社長 佐々木 慎一

東京本社 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-6-5
電話 03 (3200) 7777

福井本社 〒918-8108 福井県福井市春日3-620
電話 0776 (35) 3333

店舗紹介

南青山291

県産品ショップ改装 リニューアルオープン

福井県は港区にあるビジネス支援センター「ふくい南青山291」内の県産品ショップを改装し、二月九日（日）リニューアルオープンした。福井らしさをよりアピールできるように陳列方法や照明を見直し、二十〜三十代の女性層を狙った商品の充実を図っている。

南青山291は二階建てで、一階部分の約二百五十八平方メートルを県産品ショップとして使用。伝統工芸品や水産加工品など県産品の展示、販売、販売センター「ふくい南青山291」内の県産品ショップを改装し、二月九日（日）リニューアルオープンした。福井らしさをよりアピールできるように陳列方法や照明を見直し、二十〜三十代の女性層を狙った商品の充実を図っている。

内企業の自社製品を展示、販売している。

改装ではガラス壁面の内側に眼鏡や和紙などをPRするパネルを設置、入館者に対して商品のアピール度を強めた。透明の壁面は、通行人への「見える効果」を狙ったものだが、建物が見えなくなるため、いまひとつ集客に結びついていなかった。

また、漆器、越前焼、食品など陳列商品の質感を高めるよう、スポット照明を導入した。

若い女性狙い商品充実 見せる陳列、照明

スポット照明を取り入れリニューアルオープンした南青山291



広尾にオープンした箸専門店「にほんぼう」



若狭塗箸など箸製造販売の兵左衛門（本社小浜市新小松原、浦谷兵衛社長）は、渋谷区広尾に箸専門店「にほんぼう」をオープンさせた。

渋谷区広尾五丁目の路面店で、

小浜の
兵左衛門

広尾に箸専門店 250種品そろえ

五十万円の若狭塗箸から日常で使う千円程度の箸まで約二百五十アイテムをそろえている。

同社は、伝統的若狭塗箸ほか、携帯用の箸「八四郎」などを製造販売している。首都圏でも百貨店を中心に販売展開しているが、「マイ箸」の持ち歩きが徐々に広がっていることから自社専門店を構え、直販に乗り出した。

同店では販売のほか、漆の塗り直しサービスを行い「顧客と長い付き合いができる店にしたい」（吉瀬正昭社長）としている。

また首都圏の企業をターゲットに、エコ商品として箸ギフトの

受注も強化する。

福井県内の伝統地場産業で東京に直販店を構えるのは珍しい取り組み。吉瀬社長は「周辺の住民や外国人にも箸の良さを情報発信していきたい」と話している。電話（5420）1184



新入会員名

H18秋季総会以降

井上雄介 越前市 日本システムバンク(株)
木田大介 福井市 (株)シオブレイン
高島嘉和 鯖江市 ソニー生命(株)
田中信一 福井市 (株)ビジネスコミュニケーション
南部隆宏 敦賀市 (株)パーテックスリンク
南部直登 福井市 日本生命保

南部充行 敦賀市 (株)パーテックスリンク
中村嘉宏 鯖江市 ひのき総合法律事務所
西村洋一 鹿兒島県 田中建設(株)
広部誠一 福井市 (株)廣部硬器
牧野 勤 大野市 井上金庫販売(株)
萬谷宏治 越前市 (有)萬谷
向田和也 福井市 (有)萬谷麻布

山口ちとせ 越前市 山ふところ工房
山田康裕 福井市 (株)パーテックスリンク
山本克栄 鯖江市 (医)社団島栄会 老人保健施設の
佐々木竜憲 大野市 三井生命保険(株)
現在会員数928名
(2007.9.30)

「福井の味」
を麻布で

和乃坐 麻布萬會 麻布十番に開店



この度、弊社有限会社萬谷（本社 福井県越前市京町）は、東京都港区麻布十番にて『和乃坐 麻布萬會』を開店する運びとなりました。

皆様方の心に宿る、越前福井の「粹」を今まで以上に広く伝えていきたいという想いのもと表現した場所です。

今後とも変わらぬご愛顧の程宜しくお願い致します。まずは略儀ながら書中をもちましてお礼かたがたご挨拶申し上げます。

店主 萬谷宏治

和乃坐 麻布萬會
港区麻布十番2-8-10 パティオ 麻布十番ビル7階
TEL 03-5765-7700
南北線・大江戸線麻布十番駅下車徒歩5分

編集後記

▽野路國夫コマツ社長は、「中国の成長は、北京五輪、上海万博までということではない。インフラの整備はさらに進展する」

「将来は日本、米、欧の時代ではなくアジアの時代が到来する」と主張される。富山、石川、福井二県の港連携により、環日本海ネットワークの中で、福井県の役割は益々重要になる。

▽NHKの番組で作家平岩弓枝さんが、福井出身の御母様について話されて（お父さんは代々木八幡神社の神官）以来、平岩

さんの小説に「福井」のDNAを感じ読んでいます。福井戦災のなまなましい描写に、ふるさと街で眺めた、赤々とした爆撃の夜を想起する。福井人が忘れることのできない日である。

▽「福鉄福武線、自主再建困難」来年度以降の運行が困難になる可能性もあり、福井県と沿線各市（福井市、鯖江市、越前市）と協議が注目」とのニュースが入った。ピーク時の九十七万人から、昨年度は百六十万の集客数に減少。マイカー使用、少子化の影響があるようだ。

▽「存続」を心から望みたい。

▽今号も又記事、写真等福井新聞社から一部提供して頂きました。心から感謝申し上げます。

▽会員各氏の次号への投稿をお待ちしています。（林 健彦記）

安全のために私たちが取り組むこと

安全を最優先に全社を挙げて品質保証活動に取り組んでいます。また社員みずからが発電所の機器や設備の保守・点検作業を行うことで、安全性だけでなく、信頼性や技術力向上を目指しています。

原子力発電は環境にやさしい電源として未来へ続くパワーです。

日本原子力発電株式会社

本店 〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町一番地
http://www.japc.co.jp

酒類・食材問屋（創業明治十年）
辻幸山之内株式会社
山之内株式会社
代表取締役社長 山内高嘉

東京本社 〒104-0043 東京都中央区湊三ー一三ー一六
電話（〇三）三五五三ー三三五一
FAX（〇三）三五五三ー四四六一
中部営業所 〒395-0077 長野県飯田市丸山四一五六四九
電話（〇二六五）二一八三三六
北陸営業所 〒920-0061 石川県金沢市問屋町一ー二五
電話（〇七六）二三八一六五四〇

“福井出身の方には
以下の特典を適用する
よう申し付けました”

代表取締役 上田輝彦（福井市出身）

- ❖ 翻訳・海外向けホームページ 料金 10% 一律割引
- ❖ 「グローバルビジネスのためのWEB戦略 グローバルサイト構築の10ポイント」 (冊子46p) 無料プレゼント

「東京福井県人会報を見て」とお伝えください
Tel: 03-3230-8000 (代表)
Fax: 03-3230-8050

WIP ジャパン株式会社
E-mail: info@japan.wipgroup.com
URL: http://japan.wipgroup.com
Tokyo Office
〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-12 KDX平河町ビル9F

中本好美

一階 本手打ち越前そば
二階 福井ダイニング 個室そば席
うらら

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町一ー八一ー二
（日本橋末広ビル一階）
銀座線・半蔵門線 出口B六三〇秒
電話&FAX（〇三）三三三三ー一五八八